

平成 24 年 5 月 23 日

各 位

東京都品川区東品川 3 丁目 32 番 42 号
株式会社 JALUX(ジャルックス)
代表取締役社長 横尾 昭信
(東証 1 部 コード番号: 2 7 2 9)
お問い合わせ先 経営企画部長 田口 健
(TEL 03-6367-8822)

JALUXグループ新中期経営計画「Innovate 2014」の策定について

このたび、平成 25 年 3 月期から平成 27 年 3 月期の JALUX グループ新中期経営計画「**Innovate 2014**」を策定いたしましたので、その概要を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 企業理念・文化・事業コンセプト

- ・企業理念 : 「幸せづくりのパートナー ~人に社会に環境に、もっと豊かな輝きを~」
- ・企業文化 : 「**Challenge and Change**」
環境の変化をいち早く捉え、新たな領域を切り拓いて、自らを進化させていく。」
- ・事業コンセプト: 「航空分野で培われた『安心』『安全』を礎として、高品質で独自性のある事業・商品・サービスを創造する。」

2. 基本方針

「航空」「空港」「食品」の 3 分野を中核事業領域と定め、以下内容を骨子として持続的成長を図ります。

1)事業の拡充

- 当該事業領域における**既存事業のさらなる深耕と、顧客・商品・サービスの拡幅**による事業拡充を図ります。
- 事業の新陳代謝**を活性させ、限られた経営資源を注力事業に**適正かつ効率的に再配分**することで、資本効率を高め収益の拡大を目指します。
- 事業規模拡大やバリューチェーンの充実・強化のために、**M&A** や**アライアンス**を活用し、それらの効果を具現化させるとともに、積極的に**協業ネットワークの拡大**を図ります。
- 新たな商機獲得とスピーディな顧客対応を目的に、西日本エリアを活動範囲とする**事業拠点を大阪に設置**(平成 24 年 7 月、西日本支社設置)し、国内の**未開拓市場での掘起し**を行います。

2)新たなコア事業の創出

- 当該事業領域において、次代の成長エンジンとなりうる**新たなコア事業の開発**を推進します。
- 上記推進のため、長期資金需要に備え有利子負債による**30 億円規模の投資余力を確保**し、これを充当します。(既存事業の通常投資等はこれに含みません。)
- 海外空港プロジェクトへのアプローチや、競争力の高い水産加工場の確保など、伸長著しい成長市場である**ASEAN (アセアン)**での**事業展開**を推進します。

3)環境変化に耐えうる事業構造の強化

- ー成長に向けて**健全な財務体質**を維持するとともに、コスト体質改善を達成した足許の**収益力をさらに向上**させます。
- ーグループ各社の企業価値の追求を促進しつつ、事業シナジーの追求により**グループの事業価値の最大化**を図ります。
- ー本社機能の業務分担の最適化による**業務効率化とスリム化**を図ります。

4)人材育成と活用、企業風土改革

- ー**海外派遣制度や研修**を通じてグローバル人材・マルチ人材・マネジメント人材の育成を図ります。
- ーグループ役員がその能力を最大限発揮できるようなキャリアパス等の仕組みを構築します。
- ー企業理念や本中期計画の浸透により、自らが率先して**新たな挑戦・改革**を仕掛ける**企業風土**を醸成します。

3. 数値計画(目標)

今中期期間においては、次代に向けての成長軌道の確保を目標に、平成 27 年 3 月期の売上高 1,200 億円、経常利益 30 億円、ROE10%、ROA 7%を計画いたします。

(単位:百万円)

	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 業績予想	平成26年3月期 計画	平成27年3月期 計画
売上高	89,082	96,000	106,000	120,000
営業利益	1,621	1,850	2,600	3,100
経常利益	1,656	1,750	2,400	3,000
ROE (自己資本当期純利益率)	5.3%			10.0%
ROA (総資産経常利益率)	4.9%			7.0%

以 上

本資料に含まれる将来の計画に関する記載は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および仮定に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因により計画と異なる場合があります。